OUKA
Osaka University Knowledge Archive

Title	太宰治スタディーズ　別冊第2号　著者紹介
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ　別冊. 2015, 2, p. 51
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/97727
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

著者紹介（掲載順）

大國眞希（おおくに・まき）
東京学芸大学連合大学院修了。博士（教育学）。現在、福岡女学院大学教授。「人間によって象徴化された」との視点から文学作品を、絵画や音楽などの〈象徴形式〉との比較を通じて研究している。著書『水と水平線』（おうふう、2009.12）。論文「太宰作品が描き出す色彩のスペクトル」（「文学・語学」2014.8）、「〈文学サウンドマップ〉をつかった教育方法の可能性」（「水月」2015.4）など。

松本和也（まつもと・かつや）
1974 年生まれ。立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了、博士（文学）。現在、信州大学准教授。主な著書に、『昭和十年前後の太宰治 〈青年〉・メディア・テクスト』（2009.3、ひつじ書房）、『川上弘美を読む』（2013.3、水声社）、『平田オリザ 〈静かな演劇〉という方法』（2015.1、彩流社）ほか。

小澤　純（おざわ・じゅん）
1976 年生まれ。早稲田大学大学院文学研究科日本文学専攻博士後期課程修了。博士（文学）。現在、慶應義塾志木高等学校教諭、恵泉女学園大学大学院非常勤講師。論文「「顚倒」する眼差し —— 芥川龍之介「地獄変」と《感情移入》」（「慶應義塾志木高等学校研究紀要」2014.3）、「忍者漫画の“革命” —— 白土三平から相原コージ『ムジナ』へ」（吉丸雄哉・山田雄司・尾西康充編『忍者文芸研究読本』2014.4、笠間書院）など。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

鈴木貴宇（すずき・たかね）
1976 年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程満期退学。修士（学術）。現在、東邦大学理学部教養科人文科学教室講師。「「あのひと」のいる街 —— 岩田宏「神田神保町」をめぐる小論」（「現代詩／詩論研究会誌るる」第 2 号、2015）、「青空への憧憬 —— 昭和初期におけるプロレタリア文学の隆盛と移動する身体への欲望」（「東邦大学教養紀要」第 45 号、2014）など。

大石紗都子（おおいし・さとこ）
東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻博士課程在学。現在、白百合女子大学非常勤講師。「堀辰雄『姨捨』『姨捨記』と更級日記 —— 保田與重郎との関連 —— 」（「日本近代文学」2012.5）、「堀辰雄と古典 —— 『風立ちぬ』と『七つの手紙』を通じて」（「文学」2013.9-10）、「堀辰雄『風立ちぬ』の文体 —— 不回帰の日々と追憶が出会う場 — 」（「国語と国文学」2013.11）など。

西野厚志（にしの・あつし）
早稲田大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士（学術）。現在、京都精華大学講師。論文「明視と盲目、あるいは視覚の二種の混乱について —— 谷崎潤一郎のプラトン受容とその映画的表現 —— 」（「日本近代文学」2013.5）、「谷崎潤一郎研究史」「谷崎潤一郎作品案内」（「文藝別冊　谷崎潤一郎　没後五十年、文学の奇蹟」2015.2）ほか。